

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年6月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871600185		
法人名	有限会社 かさま夢くらぶ		
事業所名	ケアホーム 夢くらぶ	ユニット名	1ユニット
所在地	〒309-1625 茨城県笠間市来栖2846-5		
自己評価作成日	平成24年11月26日	評価結果 市町村受理日	平成25年5月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0871600185-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年1月9日	評価確定日	平成25年5月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>施設内には大きな農園があり今年もブルーベリージュース、ブルーベリージャムができました。ブルーベリージャムはヨーグルトと一緒に食する事により、とてもおいしいと利用者様より好評です。又今年も11/3（土）収穫祭を行いました。利用者様家族もお出でになり利用者様の生活がお分かりになったと思います。又昼食は家族の方とご一緒に新米のおにぎり、山菜おこわ、つけもの、けんちん汁・・・が振る舞われました。元気に長生きしたいとお話しておりました。利用者様はカラオケでお客様をおもてなしいたしました。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者と職員は利用者寄り、一人ひとりの気持ちを大切に支援している。 事業所は畑と雑木林に囲まれた広い敷地の中に建ち、利用者が安心して散歩ができる環境となっている。 外出の機会を多く設けており、年間行事計画を立て季節毎に花見に出かけたり、利用者の希望にそって公園や神社などに日常的に外出ができるよう支援している。 自治会に加入しているほか、利用者は小学校の招待を受けて運動会や芋煮会に出かけたり、近隣にある滞在型農園の七夕祭りに参加している。 事業所の納涼祭や収穫祭に近隣住民を招待するなど、利用者が地域とつながりを持ちながら暮らし続けられるよう支援している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着サービス、認知症の一人暮らしの支援等、市包括センターの職員と共有して支援が出来るように心がけお互いに協力している。TEL又は施設に来ていただいている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作成し、玄関に掲示している。 職員会議で理念を確認し、共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	11月3日収穫祭、地域の家族の方、民生委員、クラインガルデンの入居者との交流が有り、楽しんで食事等を一緒にしていただく。大勢の人でにぎわい楽しく交流が出来た、皆様に感謝。	小学校の招待を受けて利用者は職員と一緒に運動会や芋煮会に参加したり、近隣にある滞在型農園で開催される七夕祭りに参加しているほか、事業所の納涼祭や収穫祭に近隣住民を招待し、利用者は地域の人々と交流している。 管理者は地域の人々に声をかけ、事業所の畑で収穫したブルーベリーでジャムを作ったり、近隣住民による演奏会を行っている。 近隣住民が野菜や花、果物などのお裾分けに来訪し、利用者と一緒にお茶を飲みながら会話を交している。 大学生の介護実習や小学生の体験学習を少人数だけでなく大人数でも受け入れている。 2つの自治会に加入し、地域や事業所の行事の情報を互いに共有するなど、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の近森神社でのゲートボールに参加又七夕祭り等は入居者様全員ドライブをかねて流しソーメンや天ぷら、とうもろこし、やきとり等を頂く。満面の笑顔でした。又行きたいです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議は市の職員また家族の方々も協力して何とか続けていることが出来る。事業所の状況報告を行う事が出来サービスの向上に活かしている。	運営推進会議は地域包括支援センター職員、民生委員2名の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 運営推進会議に家族等の参加は得られていないが、入居時には事業所の様子わかるよう、家族等に参加を働きかけており、入居時のみ参加を得ている。 会議では利用者の様子や事業所の行事を報告したり、時の話題を議題とし、委員から感染症予防に関するアドバイスを得ている。 これまでは議題に応じて参加者を要請しており、防災に関する議題の時には地元消防団の団長に参加を依頼するなどしていたが、管理者は地域住民の参加を増やす必要があると感じており、今まで議題毎に参加を要請していた人達に、今後は毎回参加してもらえるよう働きかけることを検討している。 運営推進会議の議事録に記載されている内容は議題のみであり、会議で話し合った内容が詳細に記載されていないなど、適切に作成するまでには至っておらず、また、議事録を開催日順にファイルするまでには至っていない。	検討事項である運営推進会議への地域住民の参加が実現することを期待する。 運営推進会議の議事録には、話し合った内容を詳細に記載するとともに、開催日順にファイルして誰でも見やすいように整理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で市の担当者に事業内容を報告しています。協力を市町村から求められている時は取り組むようにしています。	管理者は市担当者に電話で事業所や利用者の状況を報告しているほか、生活保護を受給している利用者に関することやスプリンクラー設置に関することなどを相談している。 市職員から公民館などの行事に関する情報を得て利用者の外出支援に活かしたり、市が主催する研修会の情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての理念、ケアホーム夢くらぶ身体拘束のない介護、利用者の尊厳あるケアを目指し人的物的にも各側面から一切廃止の方針で職員一同取り組んでいきます。他の利用者等の生命または身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束、その他、利用者様の行動を制限しません。	職員は身体拘束をしないケアに関する内部研修を年3回受講し、身体拘束の弊害を正しく理解するとともに、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。昨年度までは、身体拘束をしないケアに関する研修は内部研修のみだったので、管理者は今年度は外部研修を取り入れ、研修の機会を多く設けるよう取り組んでいる。 現在身体拘束はしていないが、やむを得ず身体拘束をする場合に備え「同意書」と「承諾確認書」を整備しているが、身体拘束排除に関するマニュアルや経過観察記録を作成するまでには至っていない。 日中は玄関を施錠せず、利用者が玄関から出る場合は職員の見守りで対応し、利用者の自由な生活を支援している。	管理者が今年度から取り入れようとしている、身体拘束をしないケアに関する外部研修会への受講が実現することを期待する。 身体拘束排除に関するマニュアルと経過観察記録を作成することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃より虐待について職員間で話題にしています。研修参加で意識を高め、ミーティングで研修報告を行い、虐待について意見交換しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の精神症状（心理症状）にあわせて対応することが大事です。またスタッフが症状を受容し精神的に余裕があると行動の変化をより正確に予測にもつなげるようにしたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は二人で対応し契約の説明、理解と納得の契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に一度は家族の方と利用者は毎月の支払いの時に、日常生活の中で家族の方々の要望を聞くように努め、支援していきたい。	管理者は利用者においても事業所においても家族等とのつながりが大切と考えており、毎月の利用料支払いは家族等が持参することとし、その際にゆっくり話ができるよう時間を設け、意見や要望を聴くように努めている。 利用者からは日常の会話の中から意見や要望を聴くよう努めている。 家族等から利用者の外出希望を聴いたり、花の開花情報を得て外出支援の参考にしている。 玄関に意見箱を設置しているほか、重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はミーティングで職員の意見等を出し易い関係作りに努め、出た意見は全職員で協議し、運営に反映させている。	管理者は職員会議で職員から意見を聞いたり、日頃から職員の意見を聞くように努めているほか、職員が意見を書き込める「職員ノート」を作り、いつでも意見が出せるよう工夫しているが、職員会議の内容を記録に残すまでには至っていない。 職員から出た「利用者が安全に受診ができるよう、病院への付き添いは職員2名が対応し、有料としてはどうか」との提案や「衛生面を考慮してトイレの手ふきは使い捨てのペーパータオルにしてはどうか」との提案を運営に反映させている。	職員会議の議事録を作成し、話し合った内容を記録に残すことを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は施設運営に努力しながら職員の希望に沿うようシフトの休みなども相談し、職場環境、整備にも気配りから心くばりをしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員の研修は支援し職員も向上心を持って受けることに努力している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は近隣の方々とも交流し地域でも交流の機会を設けていける。消防分団長さんも運営推進会議に出席し協力をして頂いている。時々夜も巡回して見守りをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用始め、不安と思われるので、職員が話し相手をしたり、寄り添いお話の好きな利用者との話し相手になっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者と共に職員も同行し不安な事、要望等に耳を傾け協力的な関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	顔を一度見た人の方が安心出来るので無理のない様な自然の支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	見守り中、誰とでも利用者同士で共有することが出来る。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	医療受診日は家族対応の時と職員対応の日がある。お互いに利用者家族との絆を大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者との会話の中で昔の懐かしい事を聞いたり、又ビデオを見たり外食したり其々の思い出を共有している。	職員はカラオケや絵画など、利用者の趣味仲間が事業所に来訪する際は、迎えに行くなどの支援をしている。 職員は利用者が馴染みの人に出す手紙や年賀状の宛名書きを支援しているほか、利用者が馴染みのスーパーに買い物に行けるよう同行している。 利用者の馴染みの場所への外出希望に職員が同行できない場合は、利用者の思いを家族等に伝えて希望を叶えるなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ソファーに掛ける時、ディの方々との交流もあるので時には男同士、女どうしと気配りし、笑顔が見られる。職員もほのぼのしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	収穫祭や運営推進委員会で地域の方々に向けて行事の案内等を出している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	管理者、職員は利用者が施設での生活歴が長いので大抵の事は心得ている。なるべく、本人の意向に沿うように努力している。	職員は利用者との日常のふれあいや表情、会話から希望や意向の把握に努め、利用者の要望にそうように支援をしている。 意思疎通が困難な利用者の場合は家族等から話を聴いたり、利用者の表情やしぐさやなどから思いを汲み取るよう努め、利用者本位に支援しているが、把握した利用者の情報や思い、意向を記録に残すまでには至っていない。 市の社会福祉協議会紹介の傾聴ボランティアを受け入れているが、傾聴ボランティアが汲み取った利用者の思いを記録に残すまでには至っていない。	管理者や職員が新たに得た利用者の情報や傾聴ボランティアが汲み取った利用者の思いを記録に残すことを期待する。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との会話の中で昔の懐かしい事を話され利用者とのを尊敬し傷つけないお話をします。不安を取り除き、安心感を持たせるお話をします。良い聞き手になります。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り、連絡帳、職員間で日々の暮らしを把握するように努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを職員それぞれ意見対応（本人、家族）等で介護計画に生かすよう話し合っています。	毎月計画作成担当者と職員でモニタリングを行い、利用者や家族等の希望を取り入れた介護計画を作成するとともに、3ヶ月に1回見直し、家族等が毎年来訪した際に確認を得ている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。 管理者は計画作成担当者が変わったため、介護計画書がどこに保管されているかわからない状態である。 全ての利用者の介護計画が一つにまとめられており、利用者毎に綴られていなかったり時系列に並んでおらず、適切に保管するまでには至っていない。	介護計画書は誰が見てもすぐに分かるよう、適切に保管することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必ず利用者の立場になって物事を考え介護日誌、アセスメントシート、申し送り等で毎日の細かいケアについて話し合いをしながら実践につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族との経済的、健康ニーズに対応できるように、管理者と話をもち相談できる関係を作っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	信頼出来る病院があり、行政も協力的で相談出来る関係である。例えば糖尿病の血糖値を計る指導をして頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時の対応は定期的なものは勤務表に反映させている。利用者の健康状態に合わせて柔軟な支援に取り組んで行きたい。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援している。 通院は家族等が付き添うこととなっているが、家族等の依頼により職員が付き添う場合もある。 受診結果は家族等や事業所で報告し合い、情報を共有して適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の状態は管理者、職員が看護師に伝え看てもらい往診スタッフに繋がったり早期発見、早期治療に努めるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院医療機関と定期訪問診察で良い関係を心掛けている。又突発事故等には、地域の信頼できる総合病院があり施設で出来ることは協力している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末については、契約時に同意書を頂いているが、その都度必要時には家族と相談している。家族も協力的である。	「看取りケアについての同意書」を作成し、医療処置が必要な場合には病院対応となることを家族等に説明して同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の研修に参加し、応急手当や対応の訓練、急変、事故発生時マニュアルで研修している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力で、火災避難訓練、地震水害時の方法を訓練したり、消防署の施設点検の協力が有る。又施設でも夜間を想定した訓練もしている。実行性の高い訓練と利用者の安全対策が迅速にとれるように周辺地域住民の参加を得たい。	年1回消防署立会いのもと、地震を想定した避難訓練を含めた総合訓練を実施している。消火訓練や避難訓練並びに通報訓練を行う自主訓練と、夜間を想定した避難訓練を年に各1回実施している。避難訓練には民生委員や近隣住民の参加を得ている。避難訓練後に反省点や課題の改善に向けて話し合うまでには至っていない。職員への緊急連絡表を作成し、電話付近に掲示している。災害時に備えて米は常に1年分あるように補充し、麺類は使いながら備蓄を考慮して常に1ヶ月分の量を保管している。その他に飲料水や卓上コンロ、懐中電灯10個、寝具類を外の倉庫に保管している。	避難訓練で明らかになった反省点や課題を話し合っ て記録に残し、次回の訓練 に活かすことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者は人生の先輩で有り、自分の行く道と将来の姿と考え、常に敬意を持って接するように心掛けている。一人一人の誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応をしている。	職員は利用者一人ひとりの尊厳を大切に考え、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応を心がけている。 利用目的を明記した個人情報利用同意書を作成し、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ているが、事業所内に掲示する写真や広報紙に掲載する写真の同意を得るまでには至っていない。 利用者の個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書棚に保管し、情報漏洩に留意している。	利用者が識別できる写真の掲載については、同意書を作成して利用者や家族等の同意を得ることを提案する。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の願いに耳を傾け、自己決定、自己満足できるように日々心配りをしている。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員と利用者で野菜を作ったり、買い物や散歩の外出時に確認するなど利用者一人一人の得意なこと、したいことに配慮した支援をしている。	/		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさを大事にし、季節に合ったおしゃれが出来るように声かけや、ほめる事、外出時の活用で支援している。	/		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食事が楽しみになるよう、ホームで出来た野菜を献立に加えている。利用者の希望を聞くなどの配慮をしている。	食事は利用者の希望を取り入れるとともに、季節の食材を活かした献立となっている。利用者の状態に応じて刻み食などを提供し、職員は利用者と同じテーブルで同じ物を食べながら食事の支援をし、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。行事食や手作りおやつ、弁当持参の外出、月1回の外食は利用者の楽しみとなっている。利用者は能力に応じて野菜の皮むきなどを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の水分の摂取状況を毎日チェック表に記録すると共に摂取量も記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず舌の汚れ義歯、口腔ケアは職員と共に支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人一人に応じ、日中の排泄はトイレ利用、夜はPトイレ、トイレ誘導、リハビリパットと個々に対応、排泄の自立を支援している。	職員は排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子や時間を見計らって声をかけ、トイレ誘導をしている。職員は利用者の残存機能を活かしながらできるだけ自立して排泄ができるよう支援し、残存機能の低下防止に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物（乳酸菌、牛乳、氷水等）の工夫、運動、便秘薬と個々に応じた予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の皆様、入浴大好き。一日置きの入浴で有る職員の話し合い利用者の状態に合わせ、個々に応じた入浴の支援。	週3回の入浴が基本となっているが、利用者の希望にそっていつでも入浴ができるよう支援している。 入浴剤を使用したり、柚子湯や菖蒲湯、林檎湯のほか、時には近隣住民が持って来たバラの花びらを浮かべ、季節感を味わいながら入浴が楽しめるよう支援している。 現在入浴を拒む利用者はおらず、利用者全員が入浴を楽しみにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後の休息、昼寝、安眠は一人一人違うので、その時の状況に応じて、職員は対応し、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時Drに近況報告し、特に便秘薬、睡眠導入剤、認知症薬を相談し増やしたり減らす事で効果が得られている。症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誕生会、外食、外出、おやつ作りレクリエーション、作品作り等支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お話されていること、思い出の場所、実家、季節の花、景色等、天気を見ながら地域の行事参加等も地域の人々と協力しながら出掛けることを楽しみにしている。	職員は利用者一人ひとりの希望にそって事業所周辺の散歩や買い物と一緒に出かけている。行事計画に四季折々の花見を取り入れたり、木曜日をドライブの日として近隣の公園や神社、湖に白鳥を見に行くなど、利用者の希望にそった外出支援をしている。地域の行事に職員と利用者で出かけたり、絵の好きな利用者は展覧会に出かけるなど、外出の機会を多く設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の計画を作している。出来る人は受診時自分で支払い。職員と共に計算しながら所持金支払いをしている。又希望に沿い職員と共に買い物に出かける支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯所持者、本人からの申し出対応をしてる。手紙については親にくれたら出すのカナと話していた。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	冬になると玄関の陽だまりが人気の場所、気の合う仲間、職員も参加しての会話、そうでない人との接点にも気配りを忘れない。	居間は50畳ほどの舞台付き大広間で、ベッドやソファを多数設置している。日中は利用者全員が集まり、一人ひとりが自由に寛いでいる。食堂は独立しており、カラオケルームと併用している。玄関や廊下、居間には季節の花が飾られたり、観葉植物も至る所に置かれ、家庭的で居心地のよい空間となっている。事業所では犬を飼っており、利用者は自由に犬に触ることができ、癒されている。居間や食堂、廊下には1年間の行事の写真が飾られ、職員と利用者で行事を振り返って楽しんでいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	付き添いに更に気配り。付き添って歩行練習、作品作り等、その日によって出来る日、出来ない日もあり。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス等、使い慣れたものを置いている。利用者によっては、自分なりに片付けして分からなくなるが、衣類、寝具も家族と共に確認しながら気分よく暮らしをしている。	全室ベッドとエアコンが備え付けられている。 利用者は使い慣れた寝具類やタンス、机などの家具のほか、仏壇など大切な物品を持ち込むとともに、居室に家族の写真や自身の作品を飾ったり、時計やカレンダーを掛け、生活感のある安らげる居室になるよう工夫している。 事業所は利用者の用途に合わせて整理筆筒を用意しているほか、利用者の希望があれば事業所の寝具を提供し、居心地よく過ごせるよう支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	付き添いに更に気配り付き添っての歩行練習、作品作りなど利用者様に喜ばれている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 夢くらぶ

作成日 平成25年5月15日

【目標達成計画】

先 順	目 番	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 体的な取組み内容	具	目標達成に 要する期間
1	3	運営推進会議で話し合った内容が記載されていない	運営推進会議に議事ごとに毎回参加してもらえるように働きかけること、内容を繊細に記録していきます	運営推進会議に毎回地域住民の方を含み参加を要請し、意見等詳細を記録し順次ファイルします		H25.5～ H26.5
2	5	身体拘束排除に関する記録が作成されていない	今年度は 外部研修取り入れ 身体拘束排除に関するマニュアル作成する	現在は身体拘束に伴う利用者はおりませんが 今後に向けて外部研修を行って行きます		H25.5～ H26.5
3	7	職員会議の内容を記録に至っていない	職員会議の議事録を作成	今までの職員会議の記録を添付するとともに これからも今までと同様内容を記録します		H25.5～ H26.5
4	9	利用者の情報や思い意向が記録に残されていない	傾聴ボランティアが汲み取った思いを記録に残す	傾聴ボランティアが入り 汲み取った利用者の思いを記録に 残します		H25.5～ H26.5
5	10	介護計画書がどこに保管されているかわからない	介護計画書をわかるように保管する	今までも介護計画書は保管されてましたが 職員全員がわかる場所に保管します		H25.5～ H26.5
6	13	避難訓練の記録。反省。課題が話し合われていない	避難訓練の記録を作成する	避難訓練の実施記録を作成しました 今後は反省点、課題記録も残します		H25.5～ H26.5
7	14	事業所内に掲示する写真や広報誌は同意を得るまでに至っていない	掲示するものは家族の同意を得る	事業所内に掲示する写真や広報誌は 家族の同意を得ることが出来ました。今後は 記録に残します。個人情報利用同意書を添付します		H25.5～ H26.5

注1) 項目番号には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合には、行を追加すること。